

四中生の歌声が五小に響く！

-中学生の姿に、未来の自分たちを重ねて-

　10月23日(金)。館林市立第四中学校の2年生が五小を訪れ、合唱祭で披露する曲を6年生に聴かせてくれました。
　体育館いっぱいに響く中学生の歌声。仲間と心を一つにして歌う姿や、声を重ねてつくり上げる美しいハーモニーは、6年生にとって大きな刺激となりました。
　今回の交流は、コミュニティ・スクール(CS)の取組の一環として行われたものです。小学校と中学校がこうして直接交流することは、子どもたちの学びや成長をつなぐ上でも、とても意義のあることですね。四中・2年生の皆さん、本当にありがとうございました！
　さて、考えてみれあば、6年生は卒業まであと5か月。6年生にとって、中学校は少しずつ近づいてきていますね。期待もあれば、まだ分からないことへの不安もあることでしょう。しかし、目の前で堂々と歌う中学生の姿は、これからの自分たちを思い描くきっかけとなり、中学校生活への憧れや楽しみを膨らませてくれたのではないでしょうか。
　こうした交流を大切にしながら、子どもたちが安心して、希望をもって次のステージへ進んでいけるよう、小中学校のつながりを深めていきたいと思います。